



平成28年 6 月16日

各 位

会 社 名 サイオテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 喜多 信夫  
(コード番号3744 東証第二部)  
問合せ先 常務執行役員 小林 徳太郎  
電 話 03-6401-5111

(訂正)「平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年4月25日に開示いたしました「平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年6月16日)付「平成28年12月期第1四半期決算短信の提出及び過年度の決算短信等の訂正、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出、並びに、過年度における剰余金の配当及び自己株式の取得に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月25日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	<u>1,898</u>	<u>6.6</u>	<u>90</u>	<u>3.0</u>	<u>92</u>	<u>1.5</u>	<u>40</u>	<u>△33.9</u>
25年12月期第1四半期	1,781	4.3	87	7.5	91	13.5	61	50.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 21百万円( △80.2%) 25年12月期第1四半期 109百万円( 69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	<u>4.64</u>	<u>3.41</u>
25年12月期第1四半期	7.11	5.15

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	<u>3,399</u>	<u>1,634</u>	<u>47.9</u>
25年12月期	<u>3,194</u>	<u>1,656</u>	<u>51.7</u>

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,629百万円 25年12月期 1,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	<u>9.7</u>	100	<u>△55.9</u>	100	<u>△58.1</u>	30	<u>△69.8</u>	3.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	8,874,400株	25年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	84,500株	25年12月期	85,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	8,789,727株	25年12月期1Q	8,671,664株

(注) 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

<当第1四半期連結累計期間の概況>

当社グループが属するIT産業は、クラウドコンピューティング<sup>(※1)</sup>（以下、「クラウド」）やスマートフォン、タブレット端末の普及、また、通信技術の進化によるモバイルインターネット環境の劇的な改善等により、今までに存在しなかった革新的なビジネスが数多く生まれており、急速に変化しています。

このような状況のもと、当社グループは、当期を新たな成長戦略の起点の年と位置付け、「新規分野の拡大」「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」に取り組んでいます。具体的には、ビッグデータソリューション<sup>(※2)</sup>やMBaaS<sup>(※3)</sup>等の新たな事業分野に積極的に取り組むとともに、「LifeKeeper」<sup>(※4)</sup>のバージョンアップやMFP関連ソリューション<sup>(※5)</sup>及びクラウド関連製品等の機能拡張のための積極投資を進めています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,898百万円と前年同期比6.6%増となりました。利益面におきましては、営業・マーケティングの強化、自社製品開発のための先行投資、人員の増員等の費用を増収効果により補い、営業利益は90百万円（前年同期比3.0%増）、経常利益は92百万円（前年同期比1.5%増）、四半期純利益は法人税等の計上により40百万円（前年同期比33.9%減）となりました。当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は106百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

なお、中期事業戦略に基づく事業展開を一層加速するため、翌四半期以降はさらに積極的にマーケティング活動、研究開発、人員増強等を推進していく予定です。

各セグメントの業績は、次の通りの結果となりました。

(オープンシステム基盤事業)

当事業においては、自社製品の「LifeKeeper」は日本・米州・欧州・アジア・オセアニア地域の全地域で堅調に推移しました。「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(※6)</sup>は競争が激化していますが、営業・マーケティングの強化により順調に推移しました。このような中、新製品の開発や「LifeKeeper」のバージョンアップ並びに人材採用を積極的に行いました。

これらにより、売上高は1,267百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期比65.7%減）となりました。

(Webアプリケーション事業)

当事業においては、MFP関連ソリューションの提供が順調に伸長しました。また、Google Apps<sup>™</sup>の機能拡張サービスである「Gluegentシリーズ」<sup>(※7)</sup>をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの売上が堅調に推移しました。新たな事業分野であるビッグデータソリューションの事業展開を一層推進しました。

これらにより、売上高は632百万円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は66百万円（前年同期比261.3%増）となりました。

(\*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(\*2) ビッグデータソリューション

大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

(\*3) MBaaS

MBaaS (Mobile Backend as a Service) の略、スマートフォンアプリの開発に必要な汎用的機能を提供し、スマートフォンアプリを効率よく開発できるクラウドサービス。

(\*4) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(\*5) MFP関連ソリューション

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(\*6) Red Hat Enterprise Linux

オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(\*7) Gluegentシリーズ

子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、売掛金の増加207百万円、繰延税金資産の増加23百万円、現金及び預金の減少52百万円、仕掛品の減少5百万円等の要因により、3,041百万円（前連結会計年度末比6.0%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加20百万円等の要因により、358百万円（同9.7%増）となりました。

この結果、総資産は、3,399百万円（同6.4%増）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の増加123百万円、未払法人税等の増加76百万円、賞与引当金の増加43百万円、前受金の減少29百万円等の要因により、1,536百万円（前連結会計年度末比15.8%増）となりました。

固定負債は、長期預り金の増加9百万円等の要因により、228百万円（同7.7%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,765百万円（同14.7%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少19百万円、配当金の支払い43百万円、当四半期において四半期純利益40百万円を計上したこと等の要因により、1,634百万円（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前述のとおり翌四半期以降、さらに積極的に先行投資的な費用を投下していく予定であるため、現時点では平成26年1月31日に公表した業績予想の水準で推移すると予想しており、修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,733,011	1,680,844
受取手形及び売掛金	841,917	<u>1,049,782</u>
商品及び製品	-	1,341
仕掛品	<u>21,656</u>	16,012
繰延税金資産	26,283	49,899
前渡金	130,810	133,597
その他	114,759	109,769
貸倒引当金	△513	△223
流動資産合計	<u>2,867,924</u>	<u>3,041,024</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	72,020	70,220
その他(純額)	45,481	57,858
有形固定資産合計	117,501	128,079
無形固定資産		
のれん	10,253	9,241
その他	31,122	33,209
無形固定資産合計	41,376	42,450
投資その他の資産		
投資有価証券	-	20,690
差入保証金	165,940	165,545
その他	2,209	2,021
投資その他の資産合計	168,150	188,256
固定資産合計	327,028	358,786
資産合計	<u>3,194,953</u>	<u>3,399,810</u>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,338	359,989
1年内返済予定の長期借入金	5,508	4,908
未払法人税等	1,699	77,849
前受金	883,015	853,188
賞与引当金	-	43,989
引当金	6,900	1,252
その他	192,763	195,084
流動負債合計	1,326,225	1,536,261
固定負債		
長期借入金	6,148	5,371
退職給付引当金	112,531	117,496
補助金返還に伴う加算金引当金	12,079	14,319
長期預り金	81,856	91,752
固定負債合計	212,614	228,939
負債合計	1,538,839	1,765,200
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,482
利益剰余金	△64,837	△68,022
自己株式	△20,582	△20,294
株主資本合計	1,872,657	1,869,685
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△220,802	△240,065
その他の包括利益累計額合計	△220,802	△240,065
新株予約権	2,502	3,002
少数株主持分	1,755	1,987
純資産合計	1,656,113	1,634,610
負債純資産合計	3,194,953	3,399,810

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,781,398	<u>1,898,969</u>
売上原価	1,137,861	<u>1,141,852</u>
売上総利益	643,536	<u>757,116</u>
販売費及び一般管理費	555,896	<u>666,866</u>
営業利益	87,639	<u>90,249</u>
営業外収益		
受取利息	561	549
為替差益	3,166	3,510
その他	132	700
営業外収益合計	3,859	4,760
営業外費用		
支払利息	147	76
補助金返還に伴う加算金引当金繰入額	-	2,240
その他	7	3
営業外費用合計	155	<u>2,320</u>
経常利益	91,344	<u>92,689</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	39	-
関係会社株式売却益	4,160	-
特別利益合計	4,200	-
税金等調整前四半期純利益	95,544	<u>92,689</u>
法人税、住民税及び事業税	37,217	75,747
法人税等調整額	△3,624	△24,048
法人税等合計	33,593	51,699
少数株主損益調整前四半期純利益	61,951	<u>40,989</u>
少数株主利益	324	231
四半期純利益	61,627	<u>40,757</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,951	<u>40,989</u>
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	47,818	△19,262
その他の包括利益合計	47,818	△19,262
四半期包括利益	109,769	<u>21,726</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,445	<u>21,495</u>
少数株主に係る四半期包括利益	324	231

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント利益	69,226	18,413	87,639	—	87,639

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
1,688,662	50,341	24,822	17,571	1,781,398

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	Webアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,267,275	<u>631,693</u>	<u>1,898,969</u>	—	<u>1,898,969</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	708	987	△987	—
計	1,267,554	<u>632,402</u>	<u>1,899,956</u>	△987	<u>1,898,969</u>
セグメント利益	23,722	<u>66,527</u>	<u>90,249</u>	—	<u>90,249</u>

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>1,799,592</u>	53,981	26,936	18,458	<u>1,898,969</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月25日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	<u>1,917</u>	<u>7.6</u>	<u>100</u>	<u>14.3</u>	<u>104</u>	<u>14.8</u>	<u>52</u>	<u>△14.2</u>
25年12月期第1四半期	1,781	4.3	87	7.5	91	13.5	61	50.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 33百万円( △69.1%) 25年12月期第1四半期 109百万円( 69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	<u>6.02</u>	<u>4.76</u>
25年12月期第1四半期	7.11	5.15

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	<u>3,411</u>	<u>1,742</u>	<u>50.9</u>
25年12月期	<u>3,196</u>	<u>1,751</u>	<u>54.7</u>

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,737百万円 25年12月期 1,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	7,200	<u>8.7</u>	100	<u>△59.4</u>	100	<u>△62.3</u>	30	<u>△72.9</u>	円 銭 3.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	8,874,400株	25年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	84,500株	25年12月期	85,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	8,789,727株	25年12月期1Q	8,671,664株

(注) 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

＜当第1四半期連結累計期間の概況＞

当社グループが属するIT産業は、クラウドコンピューティング<sup>(※1)</sup>（以下、「クラウド」）やスマートフォン、タブレット端末の普及、また、通信技術の進化によるモバイルインターネット環境の劇的な改善等により、今までに存在しなかった革新的なビジネスが数多く生まれており、急速に変化しています。

このような状況のもと、当社グループは、当期を新たな成長戦略の起点の年と位置付け、「新規分野の拡大」「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」に取り組んでいます。具体的には、ビッグデータソリューション<sup>(※2)</sup>やMBaaS<sup>(※3)</sup>等の新たな事業分野に積極的に取り組むとともに、「LifeKeeper」<sup>(※4)</sup>のバージョンアップやMFP関連ソリューション<sup>(※5)</sup>及びクラウド関連製品等の機能拡張のための積極投資を進めています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,917百万円と前年同期比7.6%増となりました。利益面におきましては、営業・マーケティングの強化、自社製品開発のための先行投資、人員の増員等の費用を増収効果により補い、営業利益は100百万円（前年同期比14.3%増）、経常利益は104百万円（前年同期比14.8%増）、四半期純利益は法人税等の計上により52百万円（前年同期比14.2%減）となりました。当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は116百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

なお、中期事業戦略に基づく事業展開を一層加速するため、翌四半期以降はさらに積極的にマーケティング活動、研究開発、人員増強等を推進していく予定です。

各セグメントの業績は、次の通りの結果となりました。

（オープンシステム基盤事業）

当事業においては、自社製品の「LifeKeeper」は日本・米州・欧州・アジア・オセアニア地域の全地域で堅調に推移しました。「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(※6)</sup>は競争が激化していますが、営業・マーケティングの強化により順調に推移しました。このような中、新製品の開発や「LifeKeeper」のバージョンアップ並びに人材採用を積極的行いました。

これらにより、売上高は1,267百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期比65.7%減）となりました。

（Webアプリケーション事業）

当事業においては、MFP関連ソリューションの提供が順調に伸長しました。また、Google Apps<sup>™</sup>の機能拡張サービスである「Gluegentシリーズ」<sup>(※7)</sup>をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの売上が堅調に推移しました。新たな事業分野であるビッグデータソリューションの事業展開を一層推進しました。

これらにより、売上高は650百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益は76百万円（前年同期比315.1%増）となりました。

(\*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(\*2) ビッグデータソリューション

大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

(\*3) MBaaS

MBaaS (Mobile Backend as a Service) の略、スマートフォンアプリの開発に必要な汎用的機能を提供し、スマートフォンアプリを効率よく開発できるクラウドサービス。

(\*4) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(\*5) MFP関連ソリューション

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(\*6) Red Hat Enterprise Linux

オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(\*7) Gluegentシリーズ

子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、売掛金の増加219百万円、繰延税金資産の増加23百万円、現金及び預金の減少52百万円、仕掛品の減少7百万円等の要因により、3,052百万円（前連結会計年度末比6.4%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加20百万円等の要因により、358百万円（同9.7%増）となりました。

この結果、総資産は、3,411百万円（同6.7%増）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の増加123百万円、未払法人税等の増加76百万円、賞与引当金の増加43百万円、前受金の減少29百万円等の要因により、1,536百万円（前連結会計年度末比15.8%増）となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加4百万円等の要因により、132百万円（同11.9%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,669百万円（同15.5%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少19百万円、配当金の支払い43百万円、当四半期において四半期純利益52百万円を計上したこと等の要因により、1,742百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前述のとおり翌四半期以降、さらに積極的に先行投資的な費用を投下していく予定であるため、現時点では平成26年1月31日に公表した業績予想の水準で推移すると予想しており、修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,733,011	1,680,844
受取手形及び売掛金	841,917	<u>1,061,588</u>
商品及び製品	-	1,341
仕掛品	<u>23,556</u>	16,012
繰延税金資産	26,283	49,899
前渡金	130,810	133,597
その他	114,759	109,769
貸倒引当金	△513	△223
流動資産合計	<u>2,869,824</u>	<u>3,052,829</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	72,020	70,220
その他(純額)	45,481	57,858
有形固定資産合計	117,501	128,079
無形固定資産		
のれん	10,253	9,241
その他	31,122	33,209
無形固定資産合計	41,376	42,450
投資その他の資産		
投資有価証券	-	20,690
差入保証金	165,940	165,545
その他	2,209	2,021
投資その他の資産合計	168,150	188,256
固定資産合計	327,028	358,786
資産合計	<u>3,196,852</u>	<u>3,411,616</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,338	359,989
1年内返済予定の長期借入金	5,508	4,908
未払法人税等	1,699	77,849
前受金	883,015	853,188
賞与引当金	-	43,989
引当金	6,900	1,252
その他	192,763	195,084
流動負債合計	1,326,225	1,536,261
固定負債		
長期借入金	6,148	5,371
退職給付引当金	112,531	117,496
その他	-	9,896
固定負債合計	118,679	132,763
負債合計	1,444,904	1,669,024
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,482
利益剰余金	30,997	39,958
自己株式	△20,582	△20,294
株主資本合計	1,968,492	1,977,667
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△220,802	△240,065
その他の包括利益累計額合計	△220,802	△240,065
新株予約権	2,502	3,002
少数株主持分	1,755	1,987
純資産合計	1,751,948	1,742,591
負債純資産合計	3,196,852	3,411,616

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,781,398	<u>1,917,263</u>
売上原価	1,137,861	<u>1,157,017</u>
売上総利益	643,536	<u>760,246</u>
販売費及び一般管理費	555,896	<u>660,090</u>
営業利益	87,639	<u>100,155</u>
営業外収益		
受取利息	561	549
為替差益	3,166	3,510
その他	132	700
営業外収益合計	3,859	4,760
営業外費用		
支払利息	147	76
その他	7	3
営業外費用合計	155	<u>79</u>
経常利益	91,344	<u>104,835</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	39	-
関係会社株式売却益	4,160	-
特別利益合計	4,200	-
税金等調整前四半期純利益	95,544	<u>104,835</u>
法人税、住民税及び事業税	37,217	75,747
法人税等調整額	△3,624	△24,048
法人税等合計	33,593	51,699
少数株主損益調整前四半期純利益	61,951	<u>53,135</u>
少数株主利益	324	231
四半期純利益	61,627	<u>52,904</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,951	<u>53,135</u>
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	47,818	△19,262
その他の包括利益合計	47,818	△19,262
四半期包括利益	109,769	<u>33,873</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,445	<u>33,641</u>
少数株主に係る四半期包括利益	324	231

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	Webアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント利益	69,226	18,413	87,639	—	87,639

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
1,688,662	50,341	24,822	17,571	1,781,398

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	Webアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,267,275	<u>649,988</u>	<u>1,917,263</u>	—	<u>1,917,263</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	708	987	△987	—
計	1,267,554	<u>650,697</u>	<u>1,918,251</u>	△987	<u>1,917,263</u>
セグメント利益	23,722	<u>76,433</u>	<u>100,155</u>	—	<u>100,155</u>

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
<u>1,817,887</u>	53,981	26,936	18,458	<u>1,917,263</u>

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。